



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報



ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

第2423 回例会 2013 年 11 月 6 日(水) SAA(司会) / 小池会員 会報担当 / 篠田会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1

- 点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫
- ソング 君が代・奉仕の理想・4つのテスト唱和
- お客様 船橋 RC 青木忠茂様
(地区ロータリー財団委員会 R 平和フェロシップ小委員長)
公益財団法人市原市体育協会 副理事長 常澄忠男様
公益財団法人市原市体育協会 専務理事 清水千秋様
- 会長挨拶 市原RC会長 泉水孝夫



皆さんこんにちは。今月はR財団の
為の月間です。R財団の使命は、ロー
タリアンが、健康状態を改善し、教育
への支援を高め、貧困を救済すること
を通じて、世界理解、親善、平和を達
成できるようにすることです。非営利組
織である当財団は、ロータリアンをは
じめ、より良い世界を築こうというビジ
ョンを共有する財団支援者の方々から

の自発的な寄付のみによって支えられています。寄付はR財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。持続可能なロータリーの奉仕活動の多くは、以下の6つの分野に該当しています。

- ①平和と紛争予防 / 紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生
- ④母子と健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展

ところで、本年度からR財団の補助金制度が大きく変わり、「未来の夢計画」が始まりました。グローバル補助金は6つの重点分野に関係したものの強い制約があります。また、最低3万ドル以上というように事業規模が大きいことが特徴となっています。補助金受領後も事業の持続可能性が強く求められ、ロータリアン自らがプロジェクトに深く関与し、活動することが求められています。物資、資金の提供だけでは承認されません。この様にR財団の補助金制度が大きく変わりましたが、ロータリアンやロータリー支援者の寄付は、重点分野と関連した地元や海外での活動資金として、ロータリーが人々の暮らしを改善するために役立てられます。各会員の方々のご協力よろしくお祈りします。

●幹事報告

- ①12月のプログラムが理事会承認されましたので、メールBOXにて配布いたします。
- ②11月のロータリーレートは、まだ発表されていません。寄付等ご検討の方は後日事務局に確認してください。
- ③11月は本日の第1例会以外は地区大会や合同例会と移動例会が多くなっていますので今一度今月のプログラムをご確認の程、お願い致します。詳細は事務局にご確認下さい。
- ④市原市楽友協会より「第35回市民コンサート」のご紹介が届いています。日時は、12月15日(日)14:00から市原市民会館にて行われます。会員の皆様にご案内と招待券2枚の入った封筒をメールボックスに入れて有りますので、是非ご鑑賞下さい。

●委員会報告

国際奉仕委員会 山本委員長

国際奉仕委員会より今年度のPJ 交換学生滞在中のスケジュールについて、報告致します。今回はPJより男子3名、女子2名の5名の学生を受け入れます。受入れ期間は11月26日(火)から12月4日(水)までの9日間です。ホームステイ先及び滞在中のスケジュールについては、市原中央高等学校 IAC の顧問教諭と詰めまして、全面的にご協力をいただいております。会員の皆様には、11/26の成田空港へのお迎え、11/30の「こどもの国」での会員参加の交流会、12/1 デイズニーランドの引率、12/4の空港へ帰国送迎等にてご協力をお願い致します。今回は、滞在中の学生の例会出席が移動例会の為、出来ませんので、11/30の「こどもの国」キッズダムでの交流会が唯一、会員の皆様との顔合わせ交流会になりますので、多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

青少年育成小委員会 平野委員長

青少年育成小委員会より白鳥会員によるポリオワクチンについての講演会を市原中央高等学校にて行います。日時は11月18日(月)16時30分より市原中央高等学校 2階コンピュータールーム Bにて行います。IACの活動及び学生との交流を図れるよう会員の皆様の来場をお願い致します。また、現在IACの生徒たちにより伊豆大島の台風被害による支援として募金活動をしています。我がクラブもIACの活動を少しでも支援致したく、寄付をお願い致します。寄付金合計26,000円大変ありがとうございます。11/18に責任を持ってIACへ届けます。

●本日のメインプログラム / 青木忠茂様【船橋 RC】卓話

波と、風と、月の光 そしてロータリー

青木忠茂 (船橋 R.C.)

市原クラブの皆様、本日は卓話の機会を頂戴ありがとうございます。今は亡き父が徴兵により南方の島で終戦を迎え、飢餓状態で帰還してから私だけが男兄弟3人のなかの末っ子として戦後に生まれました。そのため甘やかされて育てられ、嫌いな野菜などは食べず、体を動かすこともしなかったので小学時代の体育の授業では「お前は見ていればいい」と言われる程の肥満児でした。大学卒業後に父のもとで写真屋になり30歳の頃より禁煙と肥満を解消するためジョギングを始め、1984年1月に館山若潮マラソン(25km)を完走しました。その年の7月に挑戦した富士登山競走では時間内完走ができませんでしたが、頂上まで自力で登った達成感に浸りました。それは私が初めて「楽に手に入れるものより、苦労して手にするものの価値が大きい」とわかった時でした。

本で見た水泳3.9km、自転車180km、ランニング42.195kmを続けて行うハワイ・アイアンマンレースの写真に感動して、1985年10月の満月に一番近い土曜日にそれに挑戦することになりましたが、アイアンマンになるのを目指した時、私はカナヅチでした。スイミングスクールに入り、コーチに



3.9kmを泳げるようにして欲しいと頼んだところ相手にされず、人に頼らず自分で泳げるようになるしかないと思い練習を始めました。その頃の様子を知っている友人は、「初めて見た時、溺れているので助けようと思ったが、すこしずつ動いているので泳ごうとしているのが、わかった」と言います。海で遠泳の経験がある

人から200m泳げれば、あとはいくらでも泳げるようになるかと教えられ、苦しいのを我慢して200mを泳げた後は本当に距離を延ばすことができました。練習を始めてから9ヵ月後の1985年5月にプールで休まず3.9kmを完泳しましたが、アイアンマンレースの水泳制限時間2時間15分をクリアできるレベルには達しませんでした。当時は朝5時から自転車の練習を30km、その後すぐに10kmのランニングを行い、朝食をとってから仕事をして、昼間に時間があるとプールで泳ぎ、夜はジムで筋力トレーニングをする日々を送りました。水泳と自転車の練習を休む日はありましたが、台風の時も雪が降る中でも1年3ヵ月間、ランニングだけは一日も休まずに続けました。

1985年10月の満月に一番近い土曜日、ハワイ島コナの水泳のスタート地点に立った時、目の前の海には魔物が棲んでいるように感じました。遠い洋上に発生したハリケーンの影響による波に乗り、2時間15分の制限時間のところ2時間9分10秒で泳ぐことができました。

続く180kmの自転車競技では、折り返し地点の近くでコナウィンドと呼ばれる強風が吹き、ペダルをいくら漕いでも逆戻りしているように感じました。順調に自転車競技を進めましたが、ゴールまであと15kmの所でカナダ人選手に追突されてしまいました。ぶつかって衝撃で自転車の車輪が曲がり、そのまま走るとタイヤの側面がすり切れるのが目に見えました。運を天にまかせてコースの端をガタゴトと走り、なんとか制限時間内に自転車のゴール地点にたどりつきました。ゴールを通過した瞬間にタイヤの空気が抜け、愛車も最後まで力を振絞ってくれていたのがわかりました。

午後4時過ぎに最終種目のマラソンに入りました。日が暮れ暗くなると真っ黒な溶岩に囲まれた街灯のない道は、月の光で浮かびあがりました。満月に一番近い土曜日にこの競技が行われる理由はここにありました。先を走る選手の発光スティックが蛍のように見えて、月明かりの下幻想的な世界でのマラソンでした。カイルア・コナの町に戻って来ると歓声が聞こえ、海岸線に沿う道が最終ゴール地点でした。道の両側に設けられたスタンドに集まった沢山の人々から祝福されて、涙と汗でびしょびしょになりフィニッシュゲートをくぐりました。朝7時に恐怖のなかで泳ぎ始めた私は夜9時10分にアイアンマンになりました。波と海、風と大地、月の光と宇宙、自分自身と正直に向き合った長くて短い一日でした。それから2年間に琵琶湖での大会を含め合計3回アイアンマンになりました。他に皆生トライアスロン、宮古島トライアスロンを完走して現役を引退しました。

禁煙をきっかけに始めたジョギングが館山若潮マラソン、富士登山競走、トライアスロンに展開していくなかで、私は変わって行きました。特に初めてアイアンマンになった後は大きく変わりました。それまでは、怖いもの知らずの度胸と運の良さで結果をだしていたのを、悪い条件のなかでも、同じ結果にするのにはどうしたらよいか考えるようになりました。そのためには基本のトレーニングを確実に積み重ねることが重要だと思いました。それを行うことでこわれかかっている橋を渡らなくてはいけなくなった時に、その橋を渡る力とアイデアが生まれ、もし渡っている途中で橋から落ちて、その先、目的を達成できる可能性が

大きくなると思いました。その後富士登山競走に再び挑戦し、時間内完走を果たした時から「石橋をたたいて渡ることを心がけていれば、危ない橋を渡りきれぬ可能性が高くなる」という信念を持つようになりました。

人との付き合いを必要以上にすることを煩わしく思っていた私でしたが、人との繋がりを大切にすることも変わりました。泳げなかった私がアイアンマンになる夢を叶えられたのには、そこで出会った素晴らしい仲間達の力があってできました。アマチュアの個人競技でも、同じ志を持つ良質の仲間の方で、能力の限界を個人で活動するよりも大きく上げられることがわかりました。

それは、自分にない力を他の人から吸収し、自分の持つ力も供して自己と全体の力を高めることができるロータリーの中でより明確になりました。さらにロータリーの理想のもとで、その力は集まるロータリアンの何倍、何十倍、何百倍の大きさとなって平和な世界を築くための強い基盤になっているのを実感しています。

30年前に1枚のアイアンマンの写真を見て、出会った良き仲間、海、大地、宇宙、ロータリーから「自分にして欲しいと思う事は、他の人にも同じようにする心」の大切さを教えてもらいました。今、私の撮る写真が、そこに写る人、見る人にとって元気の湧き出る源になってくれたら嬉しいと思います。その力がその人、その家族、まわりの人、社会を幸せにしてくれたらもっと嬉しいと思います。

本日は私の修行途中での報告をいたしました。これからもロータリアンに選ばれた皆様の教えと支えにより一緒に修行を続けさせていただきたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

青木忠茂

生年月日:1951年(S.26) 4月17日

勤務先:(有)青木写真館

1994年(H.6)船橋R.C.入会 職業分類:肖像写真

2005年～2006年 クラブ会長

2006年～現在 第2790地区ロータリー財団委員会委員、

ロータリー平和フェロシップ委員長

2015年～2016年 クラブ会長(予定)

●ニコニコ・ソーリー

公益財団法人市原市体育協会

第8回更級旗全国中学校選抜剣道大会へのご支援宜しくお願いします。

白鳥政孝会員

青木さん素晴らしい卓話をありがとうございました。

始関信夫会員

青木忠茂様、遠路お越し頂き、貴重な体験談をお話下さりありがとうございました。

泉水会長、篠田幹事

本日は、青木忠茂様、大変貴重な卓話をありがとうございました。市原市体育協会より、清水様、常澄様ようこそお越し頂き、ありがとうございました。

●出席報告

前々回確定 100% 本日出席者 23名

本日欠席者 21名 本日出席率 53.49%

●点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫